

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	教職実践演習（小）					授業形態	演習			
科目コード	750180	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	宮内 孝								ICT活 用	○
授業概要	<p>この授業では、大学4年間にわたる専門的な科目履修や教育実習等を通して学生が修得してきた知識・技能を点検・確認するとともに不足している知識・技能等があれば補完・向上させ、卒業後、小学校教育の現場で生きて働く知識や技能を身につけていくことをねらいとしています。</p> <p>教職の意義・職務内容、社会性・対人関係能力、児童理解、生徒指導の具体的対応の方法、学級経営のあり方について、小学校で教育実践を行っている先生を招いたり実践例を取り上げたりして教職の魅力をまとめ、高校生に発信します。</p> <p>授業者は、小学校教諭・教頭として教育実践に取り組んだ経験があります。この実践を通して得た知見を活用して、本授業の学修が深められるようにします。</p>									
関連する科目	小学校教育実習 I									
授業の進め方 と方法	<p>課題についてのグループ協議やロールプレイなどのグループワークを通して、課題解決を図るようにします。また、小学校における教育実践に取り組んでいる先生との交流や学習支援ボランティアでの経験などについての学生同士の交流を通して、理解を深めるとともに実践力を高めます。また、課題解決やプレゼンテーションにおいてICTを有効に活用して学びが深まるようにします。ここでの学びをもとに、子育て支援や教職の魅力をテーマとしてまとめ高校生に発信します。</p>									
授業計画 【第1回】	1. 教師に必要な資質・能力 履修カルテをもとに大学の学びを振り返りながら、教師に必要な資質・能力をテーマとした協議を行いながら理解を深めます。									
授業計画 【第2回】	2. 子どもの理解と方法と実際 「叱る」と「指導」									
授業計画 【第3回】	3. 子どもの理解と方法と実際 肯定的な人間関係づくり									
授業計画 【第4回】	4. 子どもの理解と方法と実際 場面指導									
授業計画 【第5回】	5. 子どもの理解と方法と実際 学習支援ボランティアの振り返り ロールプレイやグループ協議を通して、子どもとのよりよい関係づくりのための手立てを考えます。									
授業計画 【第6回】	6. 学級づくり 学級の目標づくり・組織									
授業計画 【第7回】	7. 学級づくり 学級の規律・自主性									
授業計画 【第8回】	8. 学級づくり 保護者との連携									
授業計画 【第9回】	9. 学級づくり 現職の先生と3年生への「私のめざす学級」プレゼン 優れた学級づくりの事例を取り上げながら、自己の学級像をまとめ、それを現職の先生に発表してご指導をいただき、さらによりよい学級づくりに取り組みます。									
授業計画 【第10回】	10. 生徒指導上の問題とその対応 不登校・校内暴力・いじめ・児童虐待などの実態と、学級担任としての対応の在り方について協議をしながら、教師としての具体的な取り組みをまとめます。									

授業計画【第11回】	11. 生徒指導上の問題とその対応 好ましい人間関係づくり 子どもとの好ましい人間関係を醸成するための手立てについて、ゲストスピーカーから学びながら自己の取組についてまとめます。
授業計画【第12回】	12. 教職の魅力発信プロジェクト① 大学での学び、実習経験、ボランティア経験等を通して、教職の魅力、実践上の課題、その課題解決のための取組についてグループ協議を通してまとめます。
授業計画【第13回】	13. 教職の魅力発信プロジェクト② グループ協議を通して整理できたことを発表するための発表の趣旨、骨子、発表方法等をグループで協議をしながら準備をします。
授業計画【第14回】	14. 教職の魅力発信プロジェクト③ 教職の魅力発信プロジェクトを実行して、高校生との教職の魅力についての協議を通して自己の考えを深めます。
授業計画【第15回】	15. 教職の魅力発信プロジェクト④ 教職の魅力発信プロジェクトを実行を通して学んだことをもとに、自己の教育像を明確にして、それに向けての教育実践を具体的に設定します。
授業の到達目標	1 学校教育の現場で必要とされる小学校教員としての総合的な実践力を身に付けることができる。 2 不易と流行の学校現場にシナカヤに対応できる力を身に付けることができる。 3 教職を希望する学生にとっても学校現場以外の職業を希望する学生にとっても重要なプレゼン力を身に付けることができる。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	授業中に次の時間の学習内容について提示します。その学習内容について、調べておいて下さい。
授業時間外学習【復習】	授業後は、授業で提示した教材と関連した教材を文献などで調べておいてください。
課題に対するフィードバック	レポートは採点后返却し解説をします。
評価方法・基準	毎回の授業への取り組み・意欲態度(10%) 演習・発表(50%)、レポート(40%)を総合的に評価する。
テキスト	毎回、プリント、スライド資料を配布します。
参考書	必要に応じて提示します。
備考	